

## 木津川市社会教育委員会 開催結果要旨

会議名	令和7年度 第4回 木津川市社会教育委員会			
日時	令和7年10月22日(水) 13時30分～14時45分まで		場所	市役所4階 会議室4-1
出席者	委員	■高原 和子 ■橋本 京子 ■今井 清美 ■河原 勝彦	■木村 勝 □井上 若菜 □石田 康二 □藤木 京	■三上 かず子 ■渡邊 素子 ■芝原 昌代 ※ □:欠席者
	事務局	中島課長、藤田課長補佐、堀課長補佐、徳田係長		

### I. 開会

高原委員長から開会にあたり挨拶があった。

### 2. 議題

#### ①生涯学習取組状況の調査結果について

前回の会議において、庁内で実施している生涯学習取組状況に関する調査結果について、集計資料を基に説明したところ、各事業が生涯学習推進計画における基本計画のどの施策に該当するかが分からぬという意見があったことから、修正した集計表を基に説明を行い、その後、課長が生涯学習推進計画各施策の現状と課題について、資料を基に説明を行った。

#### (委員)

アスピアにおいて感じることは、教室・講座の関係では高齢化が進んでおり、高齢により退会された方の後に新しい方が入ってこられない。これまで決まったメンバーがいる中で、そこに新しい方が入りづらい雰囲気があり、グループが増えていかないというのが現状である。それなら新しい講座や教室を行ってはどうかという話になるが、そうなるとどこでもやっていることが多く、その中の競争になってくる。また、講師の都合もあるので調整も難しく、学習機会の提供を行っていないといけないが、厳しい状況が続いている。

#### (委員)

前回より分かりやすくなった。まず、個票として集計の内訳があり、そのトータルとして新たに現状と課題を作っていたので分かりやすい。今後、これをベースに議論していくべき良いと思うが、なぜこれが必要なのかと言えば、同じような事業があつたり、このような事業が抜けているとかが分かり、いろんな課がいろんな事業を取り組んでいる中で重複している事業もある。それぞれ目的が違うので、重複がダメと言っている訳ではなく、重複している事業があれば一緒にやれば良いのではないかと思った。職員がこれを見ることにより、一緒にできないかとか、そのような視点で見てもらえるようになったら良いのではないか。例えば、木津川アートを行っているが、文化芸術協会などの事業とコラボをしたりすることで、新たな対象者が増えるかもしれない。もっと横の連携が必要ではないかと思う。

今後この資料をベースに積み上げていけば良いと思うが、各事業については集計内訳表で集計していただいているが、例えば、現状と課題の資料に情報提供ということで、チラシ、LINE等いろいろ書いていただいているので、それについても調査集計内訳に入れても良いのではないか

いかと思う。事業ではないが、それぞれ取り組んでいるので、そうすると空欄になるような所もなくなるくると思う。実際、知らない方が見れば、現状と課題の資料では広報を取り組んでいるが、集計表を見たら取り組んでいないように見えるので、その辺を今後バージョンアップしていけば良いのではないかと思った。

(事務局)

事務局としては、バージョンアップという考え方とは違うと思っていて、生涯学習取組状況の調査は、市民の皆さんに対して、生涯学習の機会を提供しているのがこれだけあるという講座等の一覧として、各課の取り組みが全庁的にどれだけあるのかというのを集計した資料である。その調査の目的がそこに限定している教室・講座がどれだけあるのかというのを調査したのが集計表で、それとは別に生涯学習、社会教育全般に関わる取り組みとして、どれだけあるのかというのは、現状と課題の資料で計画の骨子に基づいてまとめさせていただいた。

以前では、教育委員会の業務の点検評価で、教育委員会が実施している事業全体を点検評価として出させていただいた。市民向けに提供している生涯学習サービスの中に、例えば集計表の基本目標Ⅰの(5)は空欄になっているが、ここで施設の改修工事こんな工事をやっていると入れてしまうと、この取組状況調査が何なのかとよく分からなくなってしまう。あくまでも市民向けの教室・講座の一覧だという理解をしていただいて、社会教育、生涯学習全体で行政活動としてどれだけのことを行っていて、どういった課題があるのかというのは、この集計表で見ていただき、統合した方が分かりやすいということであれば、現状と課題の資料は、やめてしまい、集計表の個票の中に分類として入れることも想定できなくはないが、皆さんの議論がしやすいように資料を作成したいと思っている。

(委員)

調査集計内訳の資料の項目としては、教室・講座だけになるのか。

(事務局)

事務局としては、そのような意図で調査集計させていただいた。集計内訳表の下に分類番号として、京都府の分類表を参考にした分類番号がある。

(委員)

この分類番号は生涯学習推進計画とは全然違う分類で、なぜこの分類が出てくるのか唐突感がある。

(事務局)

そこが、そもそも確認せずに行ったのが失敗かと思うが、この推進計画全体の評価をするためのデータとして、この調査を全庁的に実施した訳ではなく、講座や教室というのが、社会教育課以外でどれだけ全庁的に行っているのかを分かつてなかったため、それをまず把握することを目的に全庁的な事業の内容を取りまとめたのが、この集計表である。そのような目的でこの調査を実施したので、これが直接この計画全体とは被ってこないというのは、こちらとしては、当然という認識である。ただ委員の皆様にそれについて、十分説明をする前に調査を実施したので、その調査というものが、この推進計画全体をとらえた調査になるんだろうなという期待を抱かせてしまった。その部分で初めに少しボタンのずれがあったのではないかと感じている。

(委員)

様式にあまり拘り過ぎて議論がおざなりになると困るのでベースはこれで良いと思うが、要は、項目毎にどれだけ事業が進んでいるのか、どれが弱いか等が分かるように、計画が10年

なので最終的には100%出来たが理想ではあるが、それが出来ていなければ、これが出来ていないということが考えられると意見が言えるような資料になれば良いと思う。最終的には、この現状と課題の資料が総括表的に網羅して市として現在のそれぞれの項目に対しての考え方や進捗状況を記載し、個票については参考資料として、現状と課題の資料の方を今後充実させて行けば良いのではないか。

個人的には、今後の方向性等については、きちんと見識を持って申し上げられるかと言えば、なかなかそういうのは難しいので、市として現状の課題があつて今後の方向としてこういうように考えているとかいうのが本来であり、それに対して我々計画を立てた者がちょっと意見を申し上げるということで、今後の方向性を社会教育委員会で議論して方向付けるというのとは、ちょっと違うのかと思う。

**(委員)**

取組状況に関する調査集計の個票については、今後参考にしていいかと思う。現状と課題の資料については、具体的に私達の考えをもっと深めていいかではないかと思った。

調査集計の資料については、社会教育課として、どれだけ他の課が市民に対して生涯学習の場を提供されているのかを把握したかったということで、それもとても良いことだと思う。それを他の課に広げていかないともったいない。同じような事業をやっている課が重複しているので、目的が違うかもしれないが同じ目的で行っているのなら一つにまとめて力を投じた方が効果的ではないか。この集計表については、関係課と共有して、もっと効果的な推進方法を考えいくべきで、そういう意味では、とても良い資料であると思った。

**(事務局)**

まとめとして、現状と課題の資料で、今後の方向性について、事務局の案を入れさせていただき、それを基にした方が議論しやすいということなので、それに対して良いアイディアがあれば、お聞かせをいただくということで、次回進めさせていただきたい。

**(委員)**

事前に資料をいただきたい。

**(事務局)**

事前に送付させていただく。

**②部会(計画実践部会・施設運営部会)からの報告について**

両部会共に3回目の部会を開催し、協議内容について、各部会長から報告があった。

**◎ 計画実践部会 9月10日(水) 本庁にて開催**

木村部会長から次のとおり報告があった。

今年度の計画部会は、放課後子ども教室、地域学校協働本部、コミュニティスクールについて、議論している。社会教育課の担当者から状況の説明を受けた。

**(放課後子ども教室)**

・7月、8月は実施していない。9月初旬の上柏小の「なでしこ」、棚倉小の「たなっ子」は、暑さの関係で中止となったが、第4週目の城山台小の「みのりっ子」は開催できた。

・広報7月号に学校支援及び放課後子ども教室のボランティア募集のチラシを入れたところ、9名(学校支援7名、放課後子ども教室2名)の申込みがあった。

・令和8年度に恭仁小学校、加茂小学校に開設する予定で、今のところ順調に進んでいる。た

だ、コーディネーターが見つかっていないようである。

(地域学校協働本部)

企業団体向けの協力募集チラシも配り、登録していただいた企業もあるようである。

(コミュニティスクール)

現在、コミュニティスクールの設置について、全国平均が 58.7%、京都府 81.6%、木津川市 14.3%という状況で、小学校13校、中学校5校、プラス幼稚園が3園で、幼稚園は厳しいと思うが、現在、木津小、上狹小、城山台小の3校だけであるが、令和8年度全校開設に向けて、準備が進められているようである。

◎ 施設運営部会 9月26日(金) 積水ハウス JUNOPARK にて開催

三上部会長から次のとおり報告があり、その後、参加した委員から一言ずつ感想を述べた。

今回、初めて民間の施設の見学を行った。担当者から施設の概要等の説明を受け、その後、施設を見学した。説明の中で、日本の子供達の幸せ度は、世界で最低レベルだということを積水が感じられ、子供達に幸せになって欲しいということで、感性を大切にした幸せの提供、それから感じる心、感覚的に何かを見てワクワクしたい、それが幸せに繋がるということを、企業としてやっていきたいと仰っていた。

大人も楽しめるが、基本的には小学生の高学年を対象にされており、チームとしていろいろ考えたり、作ったりしていくことで凄く勉強になった。是非、市立学校で活用していただきたい。

### 3. その他

次回会議の日程調整を行い、12月24日(水)午後1時30分から開催することとなった。

### 4. 閉会

木村副委員長から閉会の挨拶があった。

以上

その他特記事項	なし
---------	----